

交流ふくい

The Magazine of Fukui International Association



ブラジル福井村の子どもたち
(→詳細は7~8ページをご覧ください)

特集

外国人が安心して 医療サービスを受けるために ～外国人医療の現場から②～

こんにちは国際交流員です！

日本で見つけた優れたもの

国際交流しよう！

越前町国際交流協会

海外からのAIRMAIL

トルコ



財団法人 福井県国際交流協会

Vol. 71
2012.3

外国人が安心して 医療サービスを受けるために

～外国人医療の現場から②～

平成19年に県内在住の外国人対象に実施したアンケートでは、不安を感じる場所の一つとして医療機関が挙げられました。また、近年、福井県国際交流会館の相談窓口にも、在住外国人や医療機関から、様々な相談や通訳に関する問い合わせが寄せられています。

そこで、福井県国際交流協会では、在住外国人の医療支援の在り方を検討するために、平成23年9月に、医療従事者、行政職員、外国籍住民、国際交流団体等で構成する『外国人医療支援検討委員会』（委員長 社団法人福井県医師会理事 末松哲男氏）を立ち上げました。委員会では、福井県に住む外国人を取り巻く医療の現状を把握し医療支援の課題を探るため、医療機関と在住外国人を対象に、外国人医療に関するアンケート調査を実施しました。今回の特集では、このアンケート結果について報告します。

外国人医療に関するアンケート調査概要

1 調査対象

- ・医療機関（病院、診療所。歯科を除く。）
- ・在住外国人。ただし、特別永住者（終戦前から日本に居住し、終戦後も引き続き居住している朝鮮半島・台湾出身者およびその子孫）を除く。

2 調査期間

平成23年10月～11月

3 調査方法

- (1) 医療機関
 - ・福井県医師会を通じて配布
- (2) 在住外国人
 - ・市役所・町役場、市町国際交流協会、日本語ボランティア団体等に取りまどめを依頼
 - ・留学生在籍機関、外国語指導助手所属機関等に依頼
 - ・国際交流イベント、福井県国際交流会館等に来所する外国人に配布（面談）

4 回収結果（配布数／回収数／回収率）

- | | |
|-----------|---------------------|
| (1) 医療機関 | 560部／170部／回収率30.4% |
| (2) 在住外国人 | 1600部／834部／回収率52.1% |



アンケート結果から 見えてきたこと

医療機関からは、①受付窓口や診療・検査における会話集等コミュニケーションに関するサポート、受診時の概要説明や記入様式等の多言語化に対する要望が最も多く、言葉に対する不安を感じている機関が多いことがわかりました。他方で、②医療保険の未加入や医療費の支払い、③入院時の生活習慣や食文化の違いについて不安を感じている声も聞かれました。

在住外国人からは、①医療機関に関する情報入手が口コミ中心であり、正確な情報へアクセスする方法がないことや、②日本語ができないために受診をためらったり、③受診をしても受付から支払いまで様々な場面でコミュニケーションに不安を感じていたりなど、多くの人が医療通訳サービスを求めていることがわかりました。

また、自由意見からは、日本の医療機関・医療従事者に対する好意的な意見が多く聞かれる一方で、コミュニケーション不足が日本の医療に対する不信感につながっていることや、十分な通訳能力がない者が通訳を行っている現状も見えてきました。

今後に向けての展望

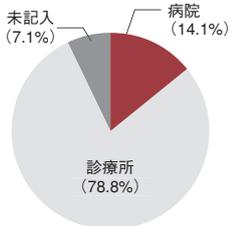
これらの状況を踏まえ、今後、短期的には、既存の有効な多言語資料やサービスについて、広報や情報提供を行い、積極的な活用を促すとともに、問診票等のニーズの高い書式、案内表示板等の多言語化についてサポートし、中長期的には、行政、医療機関、NPO等の民間団体等と連携を図りながら、受入側に対する研修や医療通訳等も含めて、多面的に支援ができるよう検討していきたいと考えています。

アンケート結果 (一部を掲載)

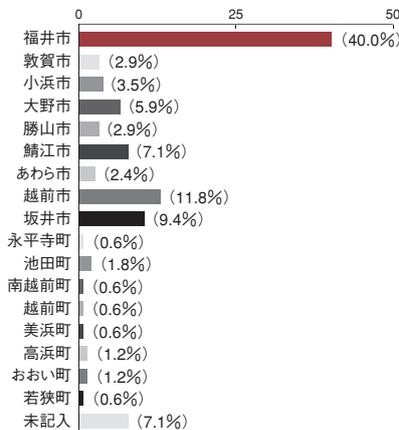
※ 項目により未記入や複数回答があるため、回答機関・回答者数と一致しないことがあります。
 ※ ()内の数字は全回答数に占める割合になります。

医療機関

1 回答機関の種類



2 回答機関の所在市町

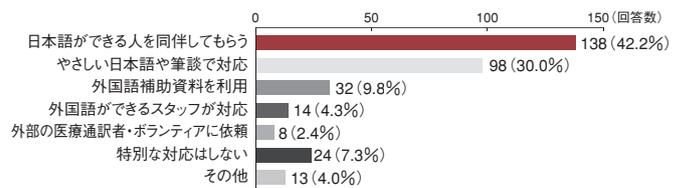


3 日本語のできない外国人患者の対応

(複数回答3つまで)

「日本語ができる人を同伴してもらう」が42.2%と最も多く、次いで「やさしい日本語や筆談で対応」が30.0%、「外国語補助資料を利用」は9.8%となった。

「外国語ができるスタッフが対応」は4.3%、「外部の医療通訳者・ボランティアに依頼」は2.4%と低かった。



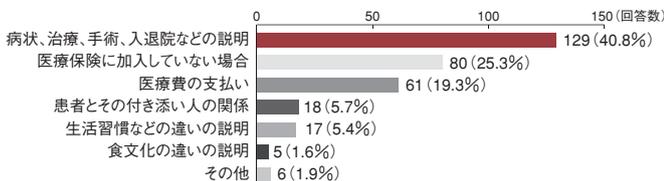
その他の内容

- ・日本語の出来ない方がいきなり一人で来ることはなく、たいがい通訳に
 なる方が同行する。 ・日本語の話せる方(患者)しか対応できない。
- ・身振り、手振り、筆談で対応

4 外国人患者の対応で苦慮したり、不安に感じること (複数回答3つまで)

「病状、治療、手術、入退院などの説明」が最も多く、40.8%だった。次いで、「医療保険に加入していない場合」が25.3%、「医療費の支払い」が19.3%と、医療費に関することも多かった。

また、「生活習慣などの違いの説明」および「食文化の違いの説明」が合わせて7.0%あった。

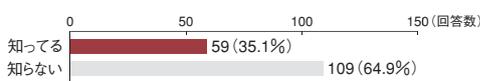


その他の内容

- ・薬の服用について ・英語の処方箋発行に時間を要する(電子カルテ)が対応していない。 ・費用を相談してその範囲内の診療費におさまるようにすることもある。 ・主訴がはっきりわからない。 ・こちらの説明を十分に理解できていない点

6 福井県サイト「医療情報ネットふくい」 (日本語・英語) について

福井県が運営するサイト「医療情報ネット」について、「知っている」と回答したのが35.1%であったのに対し、「知らない」と回答したのは64.9%であった。



※ 医療情報ネットふくい

市町や診療科目等の条件を指定して、医療機関・薬局を検索することができるインターネットホームページ。英語サイトでは、対応可能な言語による検索もできる。

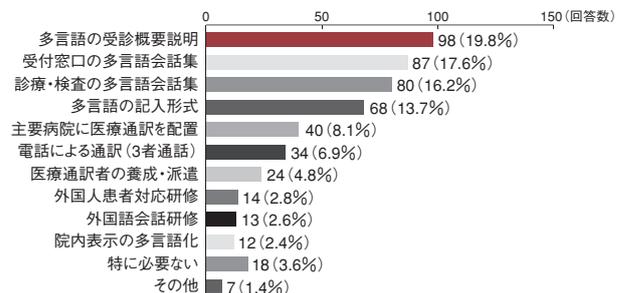
5 外国人患者の対応で必要と感じる対策

(複数回答5つまで)

「受付窓口の多言語会話集」および「診療・検査の多言語会話集」が合わせて、33.8%で、コミュニケーションをサポートする会話集の希望が多かった。

また、「多言語の受診概要説明」および「多言語の記入書式」をあわせると、33.7%と、情報や様式の多言語化を希望する回答も多かった。

通訳については、「主要病院に医療通訳を配置」が8.1%と最も多く、次いで、「電話による通訳(3者通話)」が6.9%、「医療通訳者の養成・派遣」は4.8%であった。

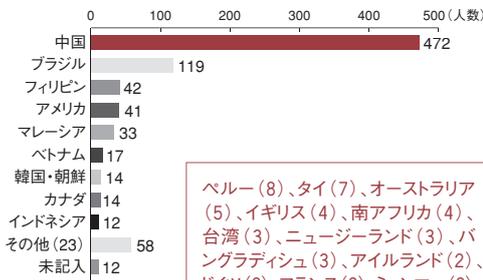


その他の内容

- ・外国人に対する病院へかかる場合の注意点などの研修 ・インターネットを介したテレビ電話によるネイティブの医療関係者による通訳 ・電話などによるサポートシステム ・同国人で日本語を話せる人との連携をもって来院するなど指導、啓蒙する。 ・外国人が日本語を学ぶ。
- ・医療に限らず、日本語ができない在住外国人への生活全般をサポートする通訳者 ・数カ所の病院にて診療を行う拠点病院をつくる。

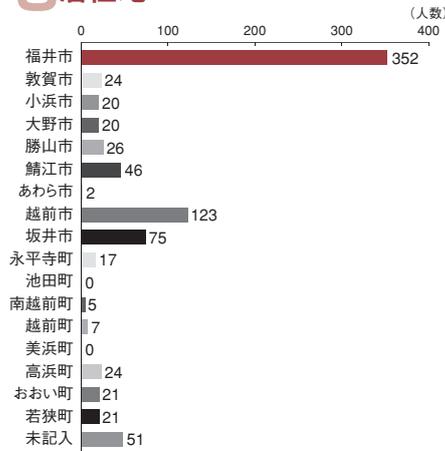
外国人

7 出身国・地域

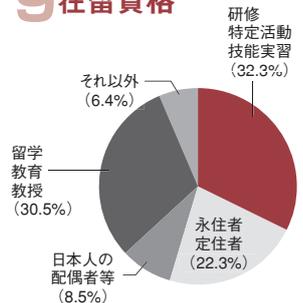


ペルー(8)、タイ(7)、オーストラリア(5)、イギリス(4)、南アフリカ(4)、台湾(3)、ニュージーランド(3)、パングラディッシュ(3)、アイルランド(2)、ドイツ(2)、フランス(2)、ミャンマー(2)、モンゴル(2)、ラオス(2)、ロシア(1)、アルゼンチン(1)、インド(1)、ウガンダ(1)、カザフスタン(1)、ジャマイカ(1)、ボルトガル(1)、南アフリカ(1)、メキシコ(1)

8 居住地

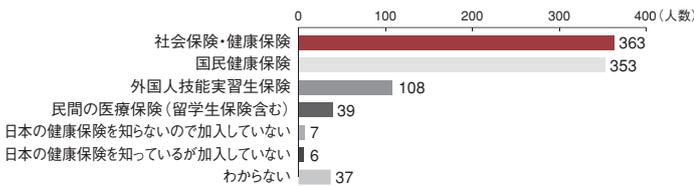


9 在留資格



10 加入している保険 (複数回答)

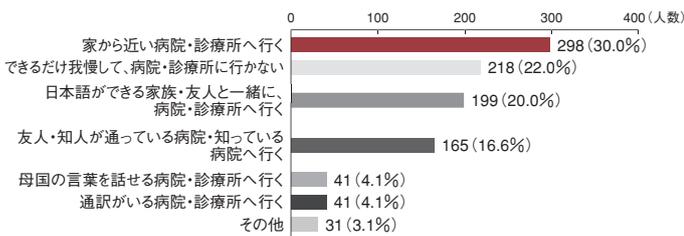
90%以上の人何らかの保険に加入しているが、わからないと回答している人が4%いる。



12 病気になったときの対応 (複数回答)

「家から近い病院・診療所に行く」と回答した人が30.0%と最も多かった。その一方で、22.0%の人が「できるだけ我慢して病院に行かない」と回答した。

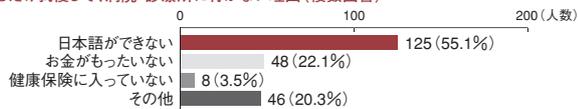
「できるだけ我慢して病院に行かない」と回答した理由としては、「日本語ができない」、「お金がない」という理由が多かった。



その他の内容

・評判の良い病院、または、紹介された病院に行く。 ・かかりつけ医師がいる病院に行く。 ・英語がわかる医者のある病院に行く。 ・学校の病院に行く。 ・ハンドブックを持って病院に行く。 ・自分で母国から持ってきた薬を飲む。ドラッグストアで薬を買う。

・できるだけ我慢して、病院・診療所に行かない理由 (複数回答)

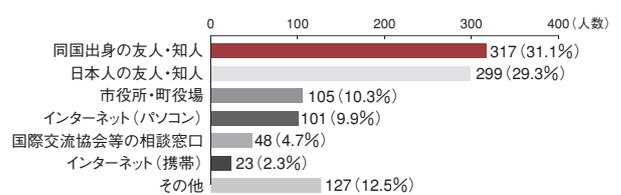


その他の内容

・仕事が忙しく時間がない。 ・英語が話せる医者が近所いない。 ・母国から薬を持参しているし、どこの病院に行ったらよいかわからない。 ・薬をたくさん飲みたい。日本の医者はたくさん薬を出しすぎる。 ・重い病気であれば、日本人に迷惑をかけるから行けない。

11 病院・診療所情報の入手先 (複数回答)

「同国出身の友人・知人」および「日本人の友人・知人」の口コミによる情報入手が全体の60.4%を占めた。次いで、「市役所・町役場」が10.3%、「インターネット(パソコン)」が9.9%となった。

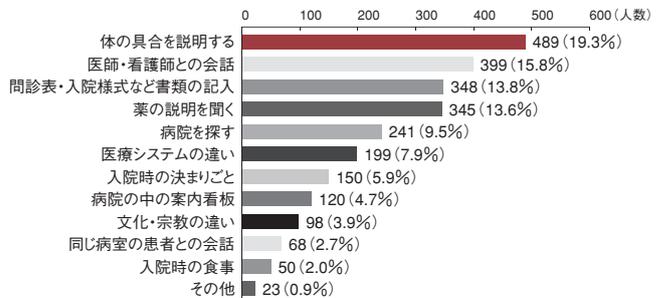


その他の内容

・学校、先生 ・会社、組合、工場 ・家族 ・AMDA国際医療情報センター ・最寄りの病院などに直接聞く。

13 病院に行ったときに、特に困ったことや不安を感じたこと (複数回答)

「体の具合を説明する」、「医師・看護師との会話」など、コミュニケーションの難しい人が35.1%、「問診票・入院様式などの書類の記入」が13.8%、「薬の説明を聞く」が13.6%、「医療システムの違い」が7.9%などとなっている。



その他の内容

・医師の説明がわかりにくい。 ・医者の診断を聞いている時、看護師さんがずっとそばで見ている。 ・症状によって、何科を受診すればいいのかわからない時がある。 ・治療費 ・保険制度がよくわからない。



こんにちは

国際交流員です！



テーマ「日本で見つけた優れもの」

福井県国際交流会館の情報・相談コーナーには国際交流活動等に従事する国際交流員が配置されています。国際交流会館にお越しの際は、お気軽に声をおかけください！今回は「日本で見つけた優れもの」についてエッセイを書いてもらいました。



ジェフリ グァネリ
Jeffrey Guarneri

アメリカ ニュージャージー州出身
勤務日：火・水・金曜日
(金曜日は午前のみ)

江 功芸
江 功芸

中国浙江省出身
勤務日：水・木・金曜日
(金曜日は午前のみ)

「コンビニ、100円ショップ、トイレ」～暮らしに必要なものを快適に安定して供給できること～ 江 功芸

中国人観光客が初めて東京を訪れる時、「日本も大したことはないな」というのが第一印象です。上海にはリニアモーターカーが走っていますし、超高層ビルは東京より圧倒的に多いからです。どうしても「なんだ、上海と大差ないじゃないか」という感じになってしまうのです。

ところが、数日すると、程なく日本の底力を感じ取ります。そのきっかけは、コンビニエンスストアです。フライドチキン、カップラーメン、おでん、カスタードプリン、野菜ジュースなどの品揃えと接客の素晴らしさに、日本に対する見方を改めていくようになります。日本のコンビニの効率の高さ、清潔さ、商品の質の高さ、店員の対応の機敏さなどに感銘を受けるのです。次に感服するのは100円ショップです。100円というと中国円で約6.5元。大手100円ショップチェーンでみんなは「安い、安い」と感嘆の声を連発、もちろん商品の大半

が中国製であることは承知の上です。そしてトイレです。高級ホテルのトイレがきれいなのは当然ですが、スーパー、病院、ラーメン屋、駅の公共トイレなど、どのような場所のトイレであっても清潔です。日本のトイレは「親切」が極限まで行き届いているのです。

コンビニ、100円ショップ、トイレと何の脈絡もないようですが、実はそこには大きな共通性があると思います。派手さはありませんが、人々の暮らしに最も大切なものを安定的に快適に、そして安く供給できるのです。日本製品やサービスの持つひとつの特徴と言えるでしょう。これは一朝一夕で実現できるものではありません。地道な努力の積み重ねと、日々の仕事の質を絶え間なく向上させていく継続的な取り組みが不可欠だからです。日本の底力はそこにあると思います。

「日本庭園、漆器」～私の大好きなもの～

日本には優れものが数多くありますが、私にとって日本庭園と漆器が特に素晴らしいと感じています。

アメリカにも美しくアレンジされた庭はありますが、お寺などにある日本庭園を散歩すると、精神が落ち着き、心が癒されます。福井県国際交流会館のすぐ近くにある養浩館庭園もお気に入りの場所の一つです。金閣寺の庭園のような有名な庭園よりも、ほとんど知られていない穴場が好きです。悩んでいる時やストレスが溜まっている時に、そのような庭園を訪れると、頭がリフレッシュされ、元気が戻ってきます。

また、漆器は本当に美しい器だと思います。デザインや色

ジェフリ グァネリ
Jeffrey Guarneri

はシンプルですが、ユニークさと優雅さがあり、一つひとつが微妙に違うのも大好きです。茶碗として使うにはもったいなくて、インテリアとして買う時もあり、家にはいくつも飾ってあります。この前アメリカに帰った時にも、お土産として家族や友達に漆器をプレゼントしました。自分の大好きな物を大切な人々とシェアすることが出来ました。

日本には、日常生活の中に優れているものがあふれています。忙しい日々の中、これらの身の回りのものを通して、不安定な心を落ち着かせ、穏やかに自分自身を見つめ直す時間を大切にしたいと思います。

越前町国際交流協会

代表者：会長 関 敬信

設立：2006年3月25日

会員数：団体会員9団体 個人会員428名

年会費：団体 5,000円 個人1,000円

入会条件：当協会の目的に賛同し、ご協力いただける方

問合せ先：〒916-0192 越前町西田中13-5-1

越前町役場国際交流室内

TEL：0778-34-8713

FAX：0778-34-1236

Eメール：kokusai@town.echizen.lg.jp



国際交流フェスティバル



文化交流事業「町を旅する」



国際理解講演会



国際理解講座

越前町国際交流協会は、国際社会に対応できるまちづくり・人づくりを推進していくために、多彩な事業を展開しています。

国際感覚を身につけた人材を育成するために、青少年（小中学生）をアメリカ・オーストラリア・タイへ派遣、外国からの学生を受入れる等の相互交流を実施しています。

また、外国人の増加に伴い、外国人住民と一緒に生活していくための支援事業、語学講座、国際交流フェスティバル、国際理解講座、研修会を開催することによって、町内外に住む外国人との交流や国際間の相互理解を深め、共生する社会の構築のために積極的に取り組んでいます。

楽しいイベントが盛りだくさんです。皆さんも一緒に参加してみませんか!!

イベントについては、**Check it out!**
ブログでも紹介しています。

越前町国際交流協会
(EIA) ブログ

<http://echizenia.cocolog-nifty.com/blog/>

福井国際フェスティバル ボランティア募集

高校生以上で、フェスティバルの企画運営に意欲があり、事前の会議に参加できる方が対象です。ボランティアは3種類あります。毎年多くのボランティアスタッフが国際交流、協力、多文化共生等のプログラムを作り上げています。会議の日程等、詳しくはお問い合わせください。

☆外国人出演者も募集しています☆

- ・母国の踊り、歌、楽器、ダンス、その他パフォーマンスができる方
- ・母国のゲーム、遊び、習慣等の紹介をして、一緒にできる方
- ・母国の料理やお菓子を作り、来場者にふるまえる方
- ・その他、自分の得意な事を生かして交流をしたい方



新着図書を紹介します！

国際交流会館の情報・相談コーナーに、新しい図書が仲間入りしました。おすすめの本を紹介します。貸出もできますので、ぜひご覧ください！

こんなに厳しい！世界の校則

監修 二宮皓

「-18℃以上であれば、休み時間は外に出なければならない」(フィンランド)「ロマンチックな行動は認められない」(ケニア)「雪合戦をしてはならない」(ドイツ)など、信じられないような世界の校則が厳選して紹介されています。一見「あり得ない!」と思う校則の背景を探れば、各国の思想や事情だけでなく、日本の常識のおかしさも見えてくるかもしれませんよ。



マジック・ツリーハウス

メアリー・ポープ・オズボーン 著

世界33カ国で1億部の売上を誇る大人気児童書シリーズです。アメリカでは小学校の教材として採用され、発売のたびに図書館での貸し出しが順番待ちになるほどの人気です。男の子も女の子もワクワクするような冒険物語で、本に出てくる国や時代についての知識が身につくように工夫されています。

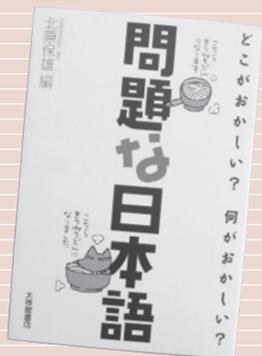


子どもが本好きになるような要素がいっぱいつまった本です。名古屋アメリカンセンターから寄贈された原作本の英語版1~28巻と日本語版1~10巻があります。

問題な日本語

北原保雄 編

「ご注文は以上でよろしかったでしょうか」「こちら和風セットになります」「全然いい」など、気になる、知らないうちに使っている“問題な日本語”を取りあげ、それがどのような理由で生まれてきたか、どのように使えばよいかを、日本語の達人、『明鏡国語辞典』の編者・編集委員がわかりやすく解説します。



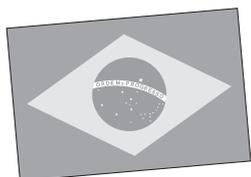
日本と世界のおもしろことわざ

監修 北村孝一 須藤健一

同じ教訓のことわざでも、日本と世界では、表現が大きく異なります。そこには、様々な気候風土の中で、独自の文化を育ててきた人々の「発想の違い」が見て取れます。日本と世界のことわざを比較しながら、外国文化を楽しく学びませんか。



国語や漢字の辞典が ブラジル福井村の 子どもたちに届きました！



ブラジル連邦共和国 データ

面積:8512,000km² (日本の22.5倍)

人口:約1億9,100万人 (2010年、伯国勢調査)

首都:ブラジリア

言語:ポルトガル語

(出典:外務省ホームページ 2012年1月現在)

福井県国際協力大使

青年海外協力隊など海外でボランティア活動をする福井県出身者で、福井県知事より国際協力大使の委嘱を受けている方です。

現地では手に入らない必要なものをみなさんから募集し、派遣国の人々のために役立たせる活動や、派遣国の人々への福井県の紹介などを行っています。国際協力大使は、福井県民と派遣国の人々をつなぐ懸け橋となって活躍しています。

詳しくは福井県のホームページをご覧ください。

福井県国際協力大使

検索

福井県国際協力大使 谷口あいこさん (福井市出身)

(ブラジル サンパウロ州 コロニア・ピニャール日本語モデル校にて日本語を指導)

こんにちは。JICA日系社会青年ボランティアとして、ブラジルの福井村に派遣されております谷口あいこと申します。この度は、辞書の寄付のご協力をありがとうございました。先日、無事に辞書が届き、早速使用させていただいております。

この村は、約50年前に福井県とJICAの助成を受け誕生した日本人移住地で、通称『福井村』と呼ばれています。福井から入植した多くの家族の子孫が、現在も活躍中です。その子孫にあたる3世や4世の子どもたちが、ブラジルの公教育の他にこの日本語学校に通っており、継承語としての日本語を日々勉強しております。

辞書を引きながら勉強をすることを勧めていながら、今まで数がそろっていませんでした。作文を書く時なども、辞書を回し合って勉強していたので、なかなか進まないときもありました。今回、たくさんの辞書をいただいたおかげで、一人ひとりがしっかり勉強できるようになると思います。

本校は、ブラジルの中でも特に日本語教育に力を入れている地区で、その中でも日本語力が高い生徒が多い学校です。今まで、福井からは、楽器や漢字の練習帳、和紙、クレヨンなど様々なものを送ってきていただいております。この学校が始まったときから、福井の皆さまからのご協力が、子どもたちの教育に生かされております。本当にありがとうございます。

もうひとつ、ご報告があります。昨年ブラジル各地の代表が集まって行われた「全伯日本語スピーチコンテスト」において、本校の生徒が優勝いたしました。(ブラジル国内で一位です!)これも日々の教育の結果だと思います。ブラジルでの継承日本語教育で、どのくらい子どもが成長しているのか、ぜひ知っていただきたく、本人に承諾を得て、スピーチコンテストで優勝した時の原稿を掲載させていただきたいと思っております。

いただいた辞書を使ってこれからも一生懸命勉強に励みたいと思います。またこれからもお力添えをいただけますと幸いです。



全伯日本語スピーチコンテスト(2011年開催) 優勝原稿

日本の震災からブラジルが学ぶこと

広瀬 カーレン 亜佐美

現在、世界は様々な問題をかかえて存在しています。その中でも、今年一番衝撃的だった出来事は、私の祖父の生まれた国、そして私にとっても二番目の故郷である日本で起こった震災。

3月11日、日本で大地震が起き、それに伴い津波が東北地方を襲いました。それにもまして驚いたのは、安全と信じられてきた原発の爆発、目に見えない放射性物質の拡散などの重大事故が起こったことです。予想の範囲をこえる損失が出ました。数万人の命が奪われ、何万人もの国民が家や財産を失ってしまったのです。その上、原発の影響で、地震では被害のなかった人の中にも、家を離れて生活をしなくてはならない人もいました。

地震直後、住むところが見つからず、避難生活を送っている人が多くいました。学校の体育館などで暮らしていましたが、そこには水も食料も不足している状況でした。そして、8か月経った今、避難所が閉鎖され、みんな少しずつ元の生活に戻ろうとしています。生まれ育った町で暮らすことをあきらめ、他の町へ引っ越す人も多く見られるようになりました。日常を奪われた人が、「これまでの生活に戻りたい」と涙ぐんでインタビューに答えていた顔が今でも忘れられません。

テレビでは、自衛隊が危険をかえりみず、生存者を必死で何日も探しつづけている様子が映しだされました。全国から多くのボランティアがかけつけ、自衛隊の活動と一緒に加わって、避難生活を支えていました。世界中から送られてきた支援物資は、誰が指示するわけでもなく、子どもやお年寄りから配られ始めました。このような状況を見て、周りの人への思いやり、苦しみの中お互いを支えあう感情、優しさ、一緒に力を合わせて、何かを乗り越えるという事が、人間にとってどんなに大切で必要な事なのかが、少し理解できました。

しかし、私の国、ブラジルでそんな大変な災害がもし起こったらと想像すると、とても怖くなります。ブラジルの建物は、日本のように地震や津波にたえられるように設計されていません。だから、あのような大きな災害にあったら、建物一つ残らずめっちゃくちゃになってしまうでしょう。そして、住民は何をすれば良いのかが分からず、ただ慌てるだけでしょう。

日本では災害直後、政府が動き始めました。電気が不足したので、計画的に停電をし、みんなに電気が回るようにしていきました。ひびわれた道路も1週間かからず直したそうです。

その反対、ブラジル政府はどうでしょう。例えば、今年の1月、リオ・デ・ジャネイロは大雨にみまわれました。その時流された土砂、家、車が今でもほとんどそのままになっているのです。そんな時に政府は、「予算がないから。」と言うだけです。それをニュースで見た時は、本当にかっかりしました。国民が払う税金で何をやっているのだろう。政府は毎日何をしているのだろう。私はいったん、ブラジルをどう信じてよいのかが分からなくなりました。

明らかに日本の状況はブラジルの大雨より何倍も大変です。それなのに、みんな復興に向けて動き出し、日本を立て直しています。政府も国民からの声をひろいあげ、問題を少しでも減らそうとしているのです。

この震災で、とりもどす事の出来ないものはたくさんあります。テレビや新聞を見ているだけの私にはすべては分かりません。しかし、失ったものばかりでは無いと思います。「助けたい、何かをしてあげたい」と言うボランティアの方の、人を思いやる気持ち、人と人との絆、日本人のみんなであつになろうとする心がより深く感じられました。一人では絶対に出来ない事でも、みんなであつになり、力を合わせれば、かなわないことは無いでしょう。

今、ブラジルは世界から注目され、成長している国です。しかし、新しいものが生まれて行く中で、リオ・デ・ジャネイロの瓦礫のように、忘れられているところもあります。ブラジル政府も日本政府のように、人々が何を求めているかを知り、もっとすばやく対応してくれれば、国民の怒りもやわらげる事が出来るのではないのでしょうか。

日本の震災から、ブラジルも多くの事を学ぶべきだと思います。国民一人ひとりが助け合いの精神を忘れずに、この事故からの教えを心にきざまなくてはなりません。

みなさん、私達のブラジル、その未来をもっと真剣に考えませんか？

中国浙江省派遣研修生募集

4月1日より
受付開始です!

福井県と友好提携している中国浙江省内の大学や研修機関で学びませんか!



浙江大學では様々な国と地域から集まった多くの留学生が中国語を学んでいます。



研修機関 (研修内容)	浙江大學(中国語)または研修機関等(※) ※研修内容は、浙江省政府と受入企業等の調整後に決定します。 ただし、研修を受けるに当たって支障のない程度の中国語能力が必要です。
派遣人員	3名
派遣時期	平成24年9月から平成25年2月まで(6か月)
応募資格	20歳から40歳までの福井県民(県職員を除く)であること 他
応募期間	平成24年4月1日(日)から5月31日(木)まで(必着)
経費等	<ul style="list-style-type: none"> ・浙江省政府は、研修期間中の宿泊費、基本生活費、研修費および中国国内旅費を負担します。 ・研修生は、日本国内の旅費、往復の渡航費その他の必要な経費を負担します。 ・研修期間中の病気、事故、違法行為等で発生する一切の経費、研修期間終了以前に帰国する場合およびやむを得ない事情で一時帰国する際に要する一切の経費は研修生が負担します。

草の根国際交流活動助成事業募集

申請団体は
国際交流団体で
なくても構いません。

平成23年度助成事業(団体名)

- ★日下部・グリフィス顕彰事業
映画「ヒーローになれなかった」ヒーロー作文コンクール
(社団法人福井青年会議所)
- ★外国人と日本人のための日本料理講座～夏料理～
- ★国際理解講座「キプロス」
(アースリンク)
- ★国際交流親善少年野球大会
(福井市野球連盟)
- ★2011越前町国際交流フェスティバル
(越前町国際交流協会)
- ★インターナショナルさかい創立5周年記念
外国人による日本語スピーチコンテスト
(インターナショナルさかい)
- ★2012年日中友好春節のつどい
(越前市日本中国友好協会)

福井県内に在籍する民間の団体を対象に
助成金を交付しています。

対象となる事業

- ・福井県内において実施する草の根の民間国際交流活動事業
- ・主目的が国際交流である事業や多文化共生推進事業
- ・福井県内に住む人を対象とし、催事は県民に公開されること
- ・日程と活動内容が具体化している事業
- ・その他草の根の国際交流の推進に寄与すると認められる事業
- ・次の期間内に実行される事業

上期 4月1日～9月30日
下期 10月1日～3月31日

申請受付期間 2月(上期)と8月(下期)
(年2回)

助成金額 活動に要する経費の2分の1以内で15万円を限度

日本語ボランティア入門講座 受講生募集

日本語を通して、あなたの周りに住んでいる外国人を支援する
ボランティア活動をしませんか!

この講座では、日本語を母語としない人とのコミュニケーションの方法や日本語を日本語で教える直接法の基礎を学びます。外国語ができなくても活動できます。
福井市と敦賀市で開催します。講座の日程等、詳しくはお問い合わせください。



平成24年度賛助会員募集中!

福井県国際交流協会では、幅広い県民の参加による全県的な国際交流を推進するため、様々な事業を展開しております。ただいま当協会の活動をサポートしていただける賛助会員を募集しております。皆様のご入会を心からお待ちしております!

【会費】個人・・・2,000円 団体・・・10,000円

【期間】平成24年4月1日～平成25年3月31日

【特典】国際交流イベントのご案内の他、映画チケット・ホテル宿泊・旅行用品・レストランでの割引など

※特典ご利用時には、必ず会員証をご提示ください。(電話等での予約の際は、会員である旨お伝えください)

※繁忙期等には特典の利用が出来ない場合もありますので、ご了承ください。

賛助会員になっていただくとこんな特典があります♪

他にも様々な特典があります! 詳しくは当協会のホームページをご覧ください!

賛助会員特典

【個人会員および同伴者】

- 飲み物(ソフトドリンク)とケーキのセット
→ケーキ代半額
- 飲み物(ソフトドリンク)と食事のセット
→飲み物代半額

≪賛助会員協賛企業のご紹介≫

喫茶パイン



おすすめは
へしこスパゲッティー
です!



〒914-0054
敦賀市白銀町1-15 TEL 0770-24-0958

EVENT SCHEDULE

平成24年4月～7月のイベントスケジュール

(都合により変更となる場合があります)

福井県国際交流会館

日本語常設講座

4月～7月

日本語ボランティア入門講座

5月～7月

外国人のための無料行政書士相談

4月7日、5月12日、6月2日、7月7日

外国人のための無料法律相談

4月21日、5月19日、6月16日、7月21日

留学生ホームビジット体験

7月

国際交流嶺南センター

日本語ボランティア入門講座

5月～8月

異文化理解講座

6月

嶺南地域国際交流推進会議

6月

外国人のための無料法律相談

随時



異文化理解講座

詳細はホームページをご覧ください!

福井県国際交流協会

検索

